

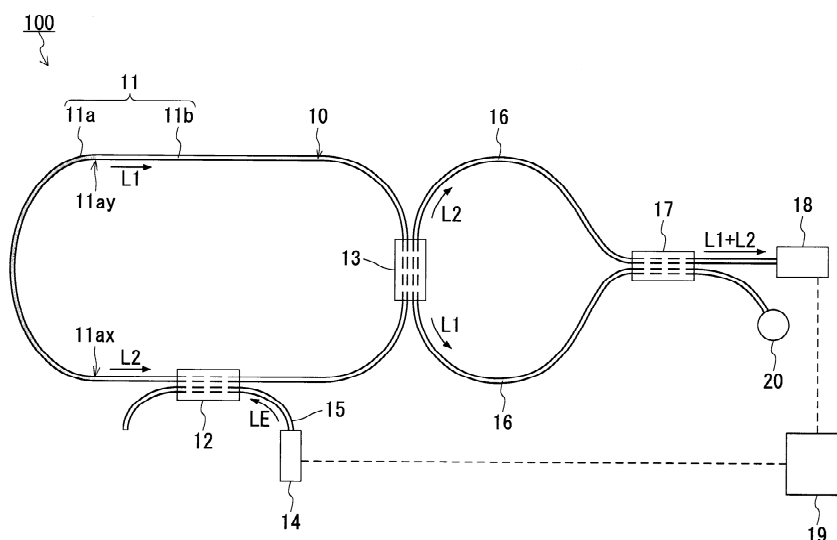
技術の名称

光ファイバジャイロ

適用分野

光ファイバジャイロ、リングレーザジャイロ

- 目的 本発明の目的は、分解能が高い光ファイバジャイロを提供するところにある。
- 効果 本発明によれば、分解能が高い光ファイバジャイロが得られ、その結果回転角速度が低い領域においても回転角速度を求めることができる。
- 技術概要 半導体レーザ素子14からの励起光はWDMカプラ12を介して光ファイバ11からなる周回光路10に伝播されてこの周回光路10を互いに逆方向に進行するレーザ光L1、L2となり、このレーザ光L1、L2の一部を光カプラ13によって取り出してこのレーザ光L1、L2の周波数差をフォトダイオード18で検出するよう構成されており、レーザ光L1、L2の波長 λ におけるWDMカプラ12の挿入損失P1および波長 λ における光カプラ13の挿入損失P2のいずれか一方が他方の0.5倍以上で2倍以下であるように設定されている。
- 特記事項、図など



- 主たる提供特許 特許等の名称 : 光ファイバジャイロ
登録番号 :
出願番号 : 特願2008-297778 出願日 : 平成20年11月21日
公開番号 :
- 実施実績 有、 ○無 ■ 提供形態 ○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先 株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
Tel 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp